

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 株式会社 AQインタラクティブ
 コード番号 3838 URL <http://www.aqi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東

(氏名) 武市 智行
 (氏名) 石井 武

TEL 03-3586-8808

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,034	△13.5	△33	—	△26	—	△36	—
20年3月期第1四半期	1,196	—	△9	—	△7	—	△120	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△670.50	—
20年3月期第1四半期	△2,460.50	—

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、平成20年3月期及び平成21年3月期第1四半期は、1株当たり四半期純損失が計上されているため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	7,855	125,161.73	6,872	125,161.73	86.6	125,161.73	125,161.73	
20年3月期	7,748	127,737.45	7,011	127,737.45	89.6	127,737.45	127,737.45	

(参考)自己資本 21年3月期第1四半期 6,802百万円 20年3月期 6,942百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	2,000.00	2,000.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,100	18.3	△68	—	△62	—	△36	—	△662.42
通期	7,800	37.7	830	8.4	850	12.0	480	△7.2	8,832.30

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 54,346株 20年3月期 54,346株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 —株 20年3月期 —株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 54,346株 20年3月期第1四半期 48,930株

※業績予想の適切な利用に関する説明

- (1) 当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。
- (2) 当連結会計年度より「四半期連結財務諸表に関する会計基準(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における当社グループの属するエンターテインメント業界におきましては、「ニンテンドーDS」「PSP」等の携帯ゲーム機や「Wii」「プレイステーション3」「Xbox360」等の据え置き型ゲーム機の普及が進んだことにより、家庭用ゲームソフト市場は順調に推移いたしました。またアミューズメント市場は厳しい環境が続く中、「ポケモンバトル」を展開しているキッズアミューズメント分野につきましては堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにつきましては、コンシューマーゲーム事業において自社販売部門の拡大と、受託開発部門の収益性向上を、アミューズメント事業において「ポケモンバトル」の高稼働率維持を図ってまいりました。5月には業務用機器向けソフトの開発に実績のある株式会社マイクロキャビンを株式取得により連結子会社化いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における業績は、売上高1,034百万円（前年同期比13.5%減）、営業損失33百万円、経常損失26百万円、第1四半期純損失36百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間の事業別セグメントは次の通りであります。

<コンシューマーゲーム事業>

コンシューマーゲーム事業自社販売部門につきましては、国内において6月にWii向けソフト「ザ・ワールド・オブ・ゴールデンエッグス ノリノリズム系」を発売しております。また国内において10月発売予定のニンテンドーDS向けソフト「AWAY シャッフルダンジョン」を海外パブリッシャーへ販売許諾しております。海外においては、米国版社であるXSEED JKS, Inc.にて前期に販売したタイトルの追加販売等により売上41百万円が計上されております。これらの結果、自社販売部門における売上高は207百万円となりました。

コンシューマーゲーム事業受託開発部門につきましては、大手パブリッシャーからの受注開発が順調に進行し、売上高592百万円となりました。

上記の結果、コンシューマーゲーム事業としましては、売上高799百万円、営業損失40百万円となりました。

<アミューズメント事業>

アミューズメント事業自社販売部門につきましては、「ポケモンバトル」において3月に行なった「ポケモンバトル プラス」へのバージョンアップによる「パック買い」モードの追加や4月に第4弾パックコレクション「神秘的なミュウ編」を投入したことなどにより好調な稼働状況を維持いたしました。稼働筐体数は6月末時点で3,000台（イベント巡回用含む）となりました。

アミューズメント事業受託開発部門につきましては、5月に株式会社マイクロキャビンを株式取得により連結子会社化したことから新たに開始しておりますが、当第1四半期連結会計期間におきましては、同社の決算が5月20日であることから貸借対照表のみを当第1四半期決算に連結しております。

上記の結果、アミューズメント事業としましては、売上高234百万円、営業利益118百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の資産につきましては、売上債権の回収による減少や固定資産の減価償却による減少等があったものの、株式会社マイクロキャビンを子会社化したことにより土地や建物等が増加し、前連結会計年度末に比べ7百万円増の7,855百万円となりました。負債は未払金や未払法人税等の減少があったものの株式会社マイクロキャビンの子会社化したことによる社債や短期借入金等の増加等により、前連結会計年度末と比べ245百万円増の982百万円となりました。純資産は配当金の支払いや当四半期純損失の計上等により、前連結会計年度末と比べ138百万円減少し、6,872百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期の業績は概ね予定通り推移しており、平成20年5月15日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社には該当していませんが、平成20年5月16日付で、株式会社マイクロキャビンの株式を取得し完全子会社化いたしました。平成19年7月より開始しておりますアミューズメント事業の開発体制を拡充し、事業領域を拡大する予定であります。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 業会計基準適用指針第14号）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切り下げの方法）に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比較して、売上総利益は61,341千円減少し、営業損失及び経常損失、税金等調整前四半期純損失はそれぞれ61,341千円増加しております。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号）」を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,556,449	3,974,396
受取手形及び売掛金	736,418	1,067,648
商品	845	—
製品	6	—
原材料	0	—
仕掛品	1,634,380	1,448,661
繰延税金資産	297,232	255,041
その他	204,914	140,117
流動資産合計	6,430,247	6,885,865
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	189,972	35,975
工具、器具及び備品(純額)	440,689	490,912
土地	136,953	—
その他(純額)	11,919	3,569
有形固定資産合計	779,535	530,457
無形固定資産		
のれん	229,851	42,263
ソフトウェア	54,052	61,762
ソフトウェア仮勘定	73,284	35,784
その他	1,021	458
無形固定資産合計	358,209	140,269
投資その他の資産		
投資有価証券	50,389	—
敷金及び保証金	217,703	183,560
その他	19,540	8,389
投資その他の資産合計	287,633	191,950
固定資産合計	1,425,377	862,678
資産合計	7,855,624	7,748,543

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	232,149	147,132
短期借入金	30,000	—
未払法人税等	54,001	275,517
引当金	80,398	44,964
その他	294,235	269,298
流動負債合計	690,784	736,913
固定負債		
社債	250,000	—
その他	41,897	—
固定負債合計	291,897	—
負債合計	982,681	736,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,195,801	3,195,801
資本剰余金	2,869,656	2,869,656
利益剰余金	745,888	891,019
株主資本合計	6,811,345	6,956,476
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△9,307	△14,457
評価・換算差額等合計	△9,307	△14,457
少数株主持分	70,904	69,610
純資産合計	6,872,943	7,011,630
負債純資産合計	7,855,624	7,748,543

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	1,034,114
売上原価	632,254
売上総利益	401,859
販売費及び一般管理費	435,361
営業損失(△)	△33,502
営業外収益	
受取利息	3,440
為替差益	3,486
その他	465
営業外収益合計	7,391
経常損失(△)	△26,110
税金等調整前四半期純損失(△)	△26,110
法人税、住民税及び事業税	37,053
法人税等調整額	△23,804
法人税等合計	13,248
少数株主損失(△)	△2,919
四半期純損失(△)	△36,438

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△26,110
減価償却費	70,942
のれん償却額	4,304
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,081
受取利息及び受取配当金	△3,440
売上債権の増減額(△は増加)	395,311
たな卸資産の増減額(△は増加)	△90,384
仕入債務の増減額(△は減少)	72,423
その他	△63,714
小計	358,250
利息及び配当金の受取額	2,431
法人税等の支払額	△322,444
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,237
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△97,437
無形固定資産の取得による支出	△37,499
敷金の差入による支出	△14,894
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△232,987
投資活動によるキャッシュ・フロー	△382,818
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△76,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76,702
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,336
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△417,947
現金及び現金同等物の期首残高	3,374,396
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,956,449

当第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	コンシューマー ゲーム事業 (千円)	アミューズメン ト事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上 高	799,553	234,560	1,034,114	—	1,034,114
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	799,553	234,560	1,034,114	—	1,034,114
営業利益	△40,993	118,144	77,150	△110,652	△33,502

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
コンシューマーゲー ム事業	家庭用ゲーム機向けゲームソフト、携帯型ゲーム機向けゲームソフト
アミューズメント事 業	アミューズメント施設向けゲーム機器及び周辺グッズ

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用（110,652千円）は当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	992,458	41,655	1,034,114	—	1,034,114
(2) セグメント間の内部売上高又 は振替高	249	—	249	△249	—
計	992,708	41,655	1,034,363	△249	1,034,114
営業利益	88,848	△11,698	77,150	△110,652	△33,502

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

北米・・・米国、カナダ

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用（110,652千円）は当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	米国	欧州	計
I 海外売上高（千円）	194,959	113,615	308,574
II 連結売上高（千円）			1,034,114
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	18.9	11.0	29.8

(注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

欧州：スペイン

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	1,196,184
II 売上原価	806,872
売上総利益	389,312
III 販売費及び一般管理費	398,817
営業損失 (△)	△9,504
IV 営業外収益	2,651
V 営業外費用	181
経常損失 (△)	△7,034
税金等調整前四半期純損失 (△)	△7,034
税金費用	109,427
少数株主損失 (△)	△3,929
四半期純利益	△120,392

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△7,034
減価償却費	18,568
のれん償却額	4,279
賞与引当金の増加額	3,655
受取利息	△254
売上債権の減少額	48,322
たな卸資産の増加額	△175,495
仕入債務の減少額	△28,198
未払金の増加額	96,186
前受金の減少額	△28,612
その他	72,586
小計	4,003
利息の受取額	254
法人税等の支払額	△279,660
営業活動によるキャッシュ・フロー	△275,402
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△19,725
無形固定資産の取得による支出	△1,998
敷金の差入れによる支出	△22,701
新規連結に伴う子会社株式取得による支出	△35,870
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80,296
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
財務活動によるキャッシュ・フロー	—
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	2,249
V 現金及び現金同等物の減少額(△)	△353,449
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,806,096
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,452,646

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

当社グループはコンシューマーゲーム事業以外の事業を行っていないため、単一セグメントとなっております。このため事業の種類別セグメント情報は作成しておりません。

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,013,342	182,841	1,196,184	—	1,196,184
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,013,342	182,841	1,196,184	—	1,196,184
営業利益	82,028	14,484	96,513	△106,017	△9,504

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
北米・・・米国、カナダ
3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用（106,017千円）は当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	米国	欧州	計
I 海外売上高 (千円)	511,490	—	511,490
II 連結売上高 (千円)			1,196,184
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	42.8	—	42.8

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。